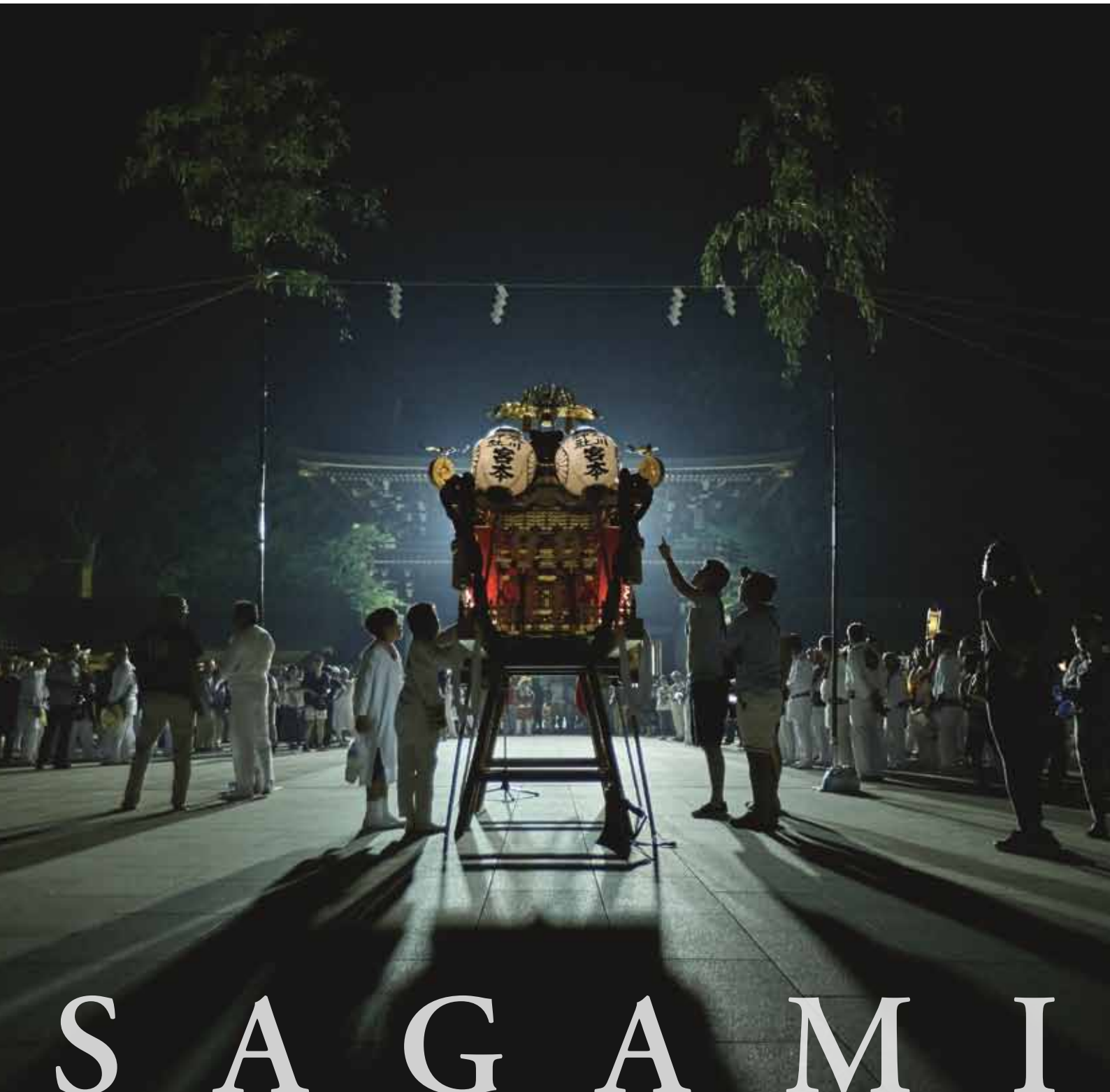


www.samukawajinja.jp

# 相模

第513号

平成30年7月1日



S A G A M I

13	12	11	10	9	8	6	4	2
寒川病院だより	青少年だより	寒川俳壇・相模詠草・人事	欄宜就任のご挨拶	東儀秀樹コンサートについて	天皇陛下御即位三十年記念	例祭のご案内	海を渡った子供神輿②	日本の「お祭り」と神輿を紹介 —ブルックリン植物園 恒例「サクラ祭り」—
								国府祭齋行 — 全社本神輿150年ぶりに一堂に会す —
								100年前の浜降祭 大正7年の記録
								社頭動静 祭典・行事のご報告
								特集 年年祭歳② 奉祝 天皇陛下御即位三十年
								年年祭歳 浜降祭 解説第3弾

祭典と行事のご案内

第49回 相模薪能

終戦記念日の8月15日、先の大戦において尊い命を捧げられた英霊への慰霊と世界の恒久平和を祈り、相模薪能を開催致します。

【開催日】平成30年8月15日(水)  
午後5時30分開演予定

【場所】寒川神社境内特設能舞台

【演目・演者】

● 能	● 狂言	● 能
大瓶猩々	樋の酒	逆矛
中森貫太ほか	野村萬斎ほか	観世喜正ほか



狂言「樋の酒」(撮影・吉越研)



能「大瓶猩々」



能「逆矛」

7月	15日	午前8時30分 午後8時	浜降古式祭
	16日	午前7時	浜降祭宵宮祭並遷霊祭
	17日	午前11時	浜降祭(於南湖浜)
	22日	午後5時30分	虫送り祭
	23日	午後5時30分	少年館夏季錬成会
8月	14日	午後5時30分	天皇陛下御即位三十年記念 東儀秀樹コンサート
	15日	午後5時30分	平和祈願祭 相模薪能

9月	19日	午前10時 午後1時	商工祈願祭・献灯奉告祭
		午後2時	例祭宵宮祭
	20日	午前10時	流鏝馬神事
	23日	午後1時	例祭
	29日	午前10時	末社御祖神社秋季霊祭 末社宮山神社例祭

毎月 1日・20日 午前8時30分  
月次祭(9月20日除く)

申込方法  
鑑賞ご希望の方は往復ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号を楷書で明記のうえ、左記要項によりお申し込み下さい。

※7月1日以降の消印より有効  
それより前の消印や記入漏れがある場合は無効となりますのでご注意ください。  
先着千名(入場限り)とし、電話での申し込みは受けません。また入場者は中学生以上に限ります。

申込先 千二五三〇一九五  
神奈川県高座郡寒川町宮山三九二六  
寒川神社相模薪能係

お問合せ 電話 〇四六七(七五)〇〇〇四

【往信面】  
無地で  
お申し込み下さい。

【返信面】  
郵便番号 〇〇〇〇〇〇  
住所 〇〇〇〇〇〇  
氏名 〇〇〇〇様  
年齢 〇〇歳  
住所 〇〇〇〇〇〇  
氏名 〇〇〇〇様

※鑑賞券の転売は固く禁止致します。

神嶽山神苑 御案内



暦の上でも夏至を過ぎ、  
日毎に日差しも強くなり  
夏本番の季節を迎えました。  
御本殿の奥庭、神嶽山神苑の  
一服のお茶にて、夏の暑さを  
和らげるひと時を…

茶屋 和楽亭



季節のお菓子とお抹茶でおもてなし  
午前9時30分～午後3時30分まで  
(午後3時受付終了)  
拝服料500円より思し召し

茶室 直心庵



毎月1日に限り特別に開庵します  
どうぞご利用ください  
◇午前10時30分/1席(約30分間)  
◇午後1時30分/1席(約30分間)  
各1席8名まで先着順  
初めての方もお気軽に茶の湯に親んでください

神楽舞と雅楽

7月及び8月はお休みし、9月より再開します。  
日程は決まり次第当神社ホームページにてお知らせいたします。

●神嶽山神苑への入苑は御祈祷を受けた方に限ります。



## 浜降祭参加神社一覽 (順不同)

下赤羽根	上赤羽根	下赤羽根	下赤羽根	室田	小田	堤田	芹沢	一之宮	園田	倉見	一之宮	新島	本村	中海岸	中海岸	十間坂
神	八雲	諏訪	八王子	八王子	熊野	八坂	腰掛	寒川	菅谷	倉見	八幡	島	八坂	八龍	中海岸	第六天
神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社
南湖中町	南湖上町	鳥井戸	南湖下町	茶屋町	香川	甘沼	高田	浜之郷	十間坂	萩園	柳島	中島	今宿	円蔵	西久保	夫久畑
八雲	金刀比羅	御霊	住吉	茶屋町	諏訪	八幡	熊野	鶴嶺	神八	三島	八幡	日枝	松尾	神明	日本吉	神社
神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社	神社

### 平成30年 寒川神社 御神幸時間表

7月16日(月) 海の日

午前	2時30分	発興祭 社頭発興
3時40分	4時50分	一之宮御通過 田端(神輿を車両に奉安)
5時30分	5時30分	国道134号線西浜交差点(昇輿)
6時00分	6時00分	南湖浜祭場着御 浜降祭祭典斎行
7時00分	7時00分	祭場発興
8時30分	8時30分	国道134号線下り(神輿を車両に奉安)
9時10分	9時10分	田端行在所供饌祭
9時45分	9時45分	一之宮行在所供饌祭
10時20分	10時20分	復興祈願祭(寒川駅前公園)
11時40分	11時40分	寒川神社御旅所祭(商工会館前)
13時30分	13時30分	社頭還幸 還幸祭



# はま おり さい 浜降祭

解説 第3弾

豊年祭

100年前の浜降祭  
～ 大正7年の記録 ～



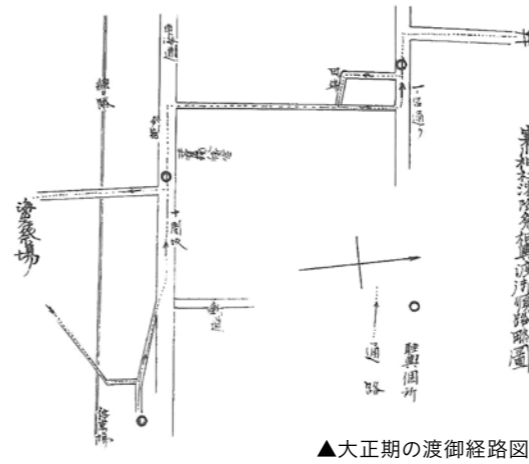
▲大正時代の浜降祭(所蔵 池田武夫、提供 茅ヶ崎市)

「暁の祭典」と名高い浜降祭は毎年7月の海の日(茅ヶ崎南湖の浜)において斎行されます。寒川神社をはじめ寒川町・茅ヶ崎市の各社の神輿約40基が一堂に浜に参集する姿は湘南地方の風物詩として多くの人々に愛されています。全国随一の規模を誇る浜降祭ですが、今からちょうど100年前はどのような形で斎行されていたのでしょうか。今回は当時の資料を基にその姿を探ってみたいと思います。  
※本誌第505・509号にて浜降祭の解説を掲載しております。HPよりダウンロードが可能です。

### 渡御経路

現在、当神社の神輿は、田端まで担いで渡御し、そこから車両で浜祭場へと向かいますが、かつては全行程を担いで渡御していました。

今から100年前にあたる大正7年の記録によると、午前3時に神社を發興した神輿は、一之宮の土橋(現南部公民館周辺)にて菅谷神社の出迎えを受け、田端から今宿を経て鳥井戸橋に到着、茅ヶ崎各社の神輿と合流し、祭場へ向かっていました。資料には鳥井戸橋に「午前3時半」到着と記載され



▲大正期の渡御経路図

ています。実際の距離を考えると、30分余りで到着することはほぼ不可能であると思われませんが、当時の担ぎ手の健脚ぶりを窺い知ることができるといえる深い資料です。

茅ヶ崎各社の神輿は鳥井戸橋にて当神社の神輿到着を待つことが慣例となっており、この時の並び順は茅ヶ崎役場にて抽選で決められていたようです。茅ヶ崎各社の神輿にとっては、寒川神社に供奉することが浜祭場へ立ち入るための必須条件でした。

### 神輿出御数

現在、浜降祭には寒川町・茅ヶ崎市内の34社の神輿が出御し、子供神輿まで含めるとその数は39基にも上ります。大正期においては、年によって多少の増減はあったものの、概ね11〜14社の神輿が参加していました。大正7年の参加神社は、寒川神社、菅谷神社(寒川町岡田)をはじめ、柳島八幡宮(柳島)、神明大神宮(円蔵)、八王子神社(本村)、日枝神社(中島)、八雲神社(南湖上町)、第六天神社(十間坂)、住吉神社(南湖下町)、神明社(下赤羽根)、八雲神社(南湖中町)、八幡宮(甘沼)の合計12社でした。当社と菅谷神社の祭場における列席位置は固定されており、この2社を中心に、各社が決められていたようです。

浜降祭  
当日限定!!

## 寒川神社商工奉賛会 浜降祭記念グッズ

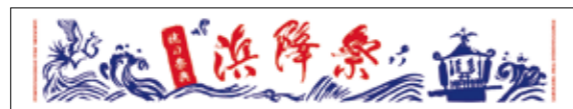
販売場所：浜降祭広報宣伝櫓下特設テント



▲うちわ  
※うちわのデザインは毎年変わります。

▲バンダナ

▼マフラータオル



商工奉賛会会員 随時募集中

### さむかわ神輿まつり開催

本年も、寒川駅前公園にて「さむかわ神輿まつり」が開催されます。町民の皆さんと共に浜降祭の伝統を後世に継承するべく、寒川4社(寒川神社・菅谷神社・倉見神社・菅谷神社)の神輿が寒川駅前公園に集結します。浜降祭の帰路、御神威も新たな神輿が乱舞し、町の活性化が図られるとともに、東日本大震災と九州・熊本地震の復興祈願祭が斎行されます。

また、本年は天皇陛下御即位三十年を記念し、寒川駅前公園より、國學院大學のマーチングバンドを先頭に奉祝パレードが実施されます。

# 寒川さんの鈴の音

※鈴の音を「祈り」の象徴ととらえ、当社社の折々の出来事をその音に乗せて皆様にお伝えするという意味を込めました。

## 相模塾

# 神

社や神道について学び、日本の伝統文化の素晴らしさを改めて知って頂くことを目的に、昨年10月に開塾した相模塾の、記念すべき第1回目の講座が開催されました。

第1回目のテーマは「神道・神社の歴史」。我が国の神道はその悠久の歴史の中で、各時代に即して変遷してきていますが、本質的な部分は変わることなく現代に継承されています。当社社にあっても、約一六〇〇年の歴史を有しながらも、神を「祀り」、「祈り」を捧げるといふ本質を大切に守り続け、今に至ります。また、神社を学ぶことは地域の歴史を学ぶことにも繋がります。

今回は、当社社の歴史や当社社特有の信仰ともいえる八方除について学び、「神社とは何か」「神道とは何か」

ました。

当社社では、昭和天皇の御聖徳と、常に国民とともにあられようとせられた大御心を拝する昭和祭を毎年斎行し、昭和の御代を顕彰するとともに、皇室の弥栄と国の隆昌を祈願しております。

## 浪速神楽講習会

# 祭

典や神嶽山神苑の石舞台等で奉奏される浪速神楽の講習会が、3日間に亘り開催されました。

そもそも神楽の語源は「神座」が転じたものであるとされています。神座とは「神々が宿る場所」であり、そこに神を降ろし、巫女が人々の穢れを祓うなどして神人一体となる際に奉奏される歌舞のことを「神楽」と呼ぶようになったといわれています。また「神楽」の起源は記紀神話の「岩戸隠れ」において、アメノウズメが神懸かりして舞ったものであるとされています。

当講習会の第1回目の開催は昭和45年、当初から津守神社（大阪市西成区）宮司・今江隆道先生にご指導を頂き、約半世紀がたちました。

浪速神楽は宮中で行われる御神楽とは異なり、関西地方を中心に伝わる里神楽の一種です。その起源は諸説ありますが、当社社では今江先生によって継承されているものを毎年ご指導頂

という基本的な疑問についても踏み込んだ、いわば「神社を知る第一歩」のような講座となりました。第1期生として入塾頂いた塾生は、20〜70代と年齢層も幅広く、一様に真剣な眼差しで講座に臨みました。

相模塾の入塾申込は既に受付を終了しております。第2期生の募集については未定ですが、決定次第当社社HPおよび本誌等でお知らせ致します。

## 浦安の舞講習会

# 当

当社社の例祭等で奉奏される神楽「浦安の舞」を4日間の日程で集中的に稽古する講習会が、神社音楽協会会長・先崎徑子先生を講師としてお迎えし開催されました。御神前での奉奏のために、神職・巫女が日々稽古に励んでおりますが、年に一度先生をお招きし、大前奉仕の意

き、神職・巫女が日々稽古を重ね御神前に奉納しております。

浪速神楽は当社社の様々な場面で奉奏されています。御参拝の折に雅で軽やかな笛の音色が聞こえましたら、心静かに神人一体の場をお楽しみください。

## 水無月大祓式・茅の輪神事

# 知

らず知らずのうちに身についた様々な罪や穢れを祓い清め、清らかな心身に立ち返ることで、次の半年間を平穏に過ごせるよう祈念する、水無月大祓式・茅の輪神事が斎行されました。年に2回斎行される大祓のうち、6月の大祓は「夏越の祓」ともいわれます。

古くより宮中行事として行われ、中世以降に全国の神社へと広がった国民的神事であるといえます。（詳細は『相模』第508号に掲載）また、『拾遺和歌集』には「みな月のなごしのはらへする人はちとせのいのちのぶといふなり」という和歌が残っており、先人たちが如何にこの神事を重視していたかが窺えます。6月の大祓では、毎年「茅の輪」が設置され、本年も多くの方が心静かにめぐりになり、無病息災を祈念されました。

次の大祓神事は大晦日に斎行されます。ぜひご参加頂きお健やかに過ごしてください。

識を改めて胸に刻むとともに、細やかかつ厳しくご指導頂くべく昭和43年より毎年講習会を開催しております。あわせて、講習会では末社御祖神社の春季霊祭・例祭で奉奏される「櫛舞」のご指導も頂き、舞に対する心構えを再認識しました。

講習会最終日には発表会が行われ、今春奉職したばかりの神職・巫女も真剣な面持ちで稽古の成果を発揮しました。

奉職1年目の新人は、事前に先輩の厳しい指導の下、日々稽古を重ね、講習会を迎えます。ゼロからの稽古の為、帰宅してからも夜遅くまで自主練習をすることも珍しくありません。現時点では、技量という点においては先輩には遠く及ばないのは確かですが、ひたすらに神明奉仕に向き合いつつ努力を惜しまない彼らの真摯な姿勢をみると、我々も常に「初心」に立ち返らなければならぬと痛感します。

## 昭和祭

# 未

曾有の大戦後の我が国を復興に導き、発展の礎をお築きになられた昭和天皇の御聖徳を仰ぎ、その大業を称える昭和祭が4月29日（昭和の日）に、厳粛に斎行され

## 祭典・行事のご報告

4月 1〜10日 第48回学齢児図画展

7・8日 宮山年参講大祭

15日 相模塾 第1回講座

24〜27日 浦安の舞講習会

29日 昭和祭

5月

1日 清泉寮上棟祭

5日 國府祭

19日 全総代・各種委員研修旅行

6月

1日 寒川神社全総代会

18〜20日 浪速神楽講習会

30日 水無月大祓式・茅の輪神事  
大祓祈願祭

毎月1日・20日 月次祭



【写真】①浪速神楽講習会②相模塾③神嶽山神苑の菖蒲④全総代会⑤昭和祭⑥浦安の舞講習会



特集 奉奉祭歳②

# 國府祭 齋行

全社本神輿150年ぶりに  
一堂に会す

季節外れの暑さとなった5月5日、中郡大磯町国府本郷の神揃山・大矢場にて毎年恒例の國府祭が斎行されました。相模國一之宮寒川神社をはじめ二之宮川勾神社、三之宮比々多神社、四之宮前鳥神社、平塚八幡宮、そして総社である六所神社を加えた6社が祭場に参集し齋行される祭典が「國府祭」です。神奈川県無形民俗文化財に指定されており、毎年多くの人で賑わいます。また、國府祭は「こうのまち」とも呼ばれ、古くは「端午祭」「天下祭」とも呼ばれていました。

古来、国の行政官として中央から派遣された「国司」は、赴任にあたり国内有力諸社に巡拝を行っていました。しかしその煩雑さから次第にその制度は簡略され、国司が赴任する国府近くに国内諸社の御霊を合わせ祀るようになりました。これがいわゆる「総社」です。

時代の流れとともにこれらの慣例は徐々に姿を消していきましたが、神社祭祀にその名残が見受けられます。

國府祭と同様の形式を有する神事は全国各地にみられますが、寒川神社と川勾神社の一之宮争いを儀式化した古式「座問答」のような神事は國府祭特有のものであるといえます。また、2市3町という広範囲に亘る神社の神輿が集結する点も全国的には非常に稀です。（國府祭についての解説は本誌第504号に掲載）  
本年の國府祭は、天皇家下御即位三十

当年を奉祝し、全社の本神輿が揃って渡御し、各社の白木神輿と合わせて12基の神輿が巡行しました。本神輿による渡御は江戸時代までは行われていましたが、明治維新を境に徐々に白木の神輿による渡御に変わりました。この度、約150年ぶりに全社の本神輿が一堂に会し、祭場は例年以上の熱気に包まれました。なお、本神輿と白木神輿、計12基が渡御したのは千年以上の歴史を誇る國府祭において史上初となりました。

当日は、雲一つない快晴に恵まれ、六所神社以外の白木神輿は順番に最初の祭場となる「神揃山」に着御しました。正午には例年通り古式「座問答」が行われ、当社と川勾神社の千年にも亘る「一之宮争い」は、比々多神社（三之宮）宮司により「いづれ明年まで」と仲裁され、本年も結局解決することはありませんでした。

午後、神揃山を發輿した5社の白木神輿は山の麓で本神輿と合流し、「奉祝 天皇家下御即位三十年」と書かれた幟に先導される祭場「大矢場」へと入りました。大矢場での神事も滞りなく齋行され、12基の神輿は名残惜しそうに帰路へ着きました。天皇家下御即位三十年を奉祝した本年の國府祭齋行にあたっては、早い段階から各社の関係者により綿密な協議が重ねられました。何事もなく國府祭が齋行され、参加者全員で天皇家下御即位三十年の佳節をお祝いすることが叶いました。

クローズアップ

海を渡った子供神輿 ②  
日本の「お祭り」と神輿を紹介  
—ブルックリン植物園恒例「サクラ祭り」—

4月28・29日、アメリカ合衆国ニューヨーク市にあるブルックリン植物園で恒例の「サクラ祭り」が開催されました。第一次世界大戦後に日本政府から送られた200本の桜並木が連なり、NY近郊で最大ともいわれる桜の祭典は本年もおよそ8万人の人出で賑わいました。

当神社が一昨年同園に寄贈した子供神輿は、昨年のサクラ祭りで初めて公の場で巡行し、来園者を大いに沸かせました。(子供神輿寄贈・巡行についての詳細は、それぞれ本誌第505号・第509号に掲載) 本年は2日間に亘り、子供神輿が園内のオズボーンガーデンに展示されたのに併せ、隣接するテントには日本各地で斎行されている

祭礼とともに神輿を紹介するブースが設けられ、神職が来園者に説明を行いました。ブース内では浜降祭の映像も上映され、来場者には茅ヶ崎市出身の方もいらっしやうり「NYで浜降祭の映像が流れていてびっくりした。とても懐かしい」と感慨深げに故郷を振り返っていました。

また開会式後、在ニューヨーク日本国首席領事をはじめとする来賓の方々や展示会場に訪れた同園メドベレー会長からは「園内改修工事のため、神輿を担ぐことができなかったが、寒川神社の助言・協力も頂き、本年は多くの来園者が神輿を実際に目にすることができ大変良かった」と喜びに満ちたお言葉を頂きました。

来園者からの声

- 神輿はとても美しいです。また展示内容についても、質が高く学ぶことが多かった
- 子供達に違う文化に触れさせるのは良いことです
- 神輿を担ぐにあたって、地域の繋がりがあるのは素晴らしい



# 例祭



報

謝

恩

徳

[報恩謝徳(ほうおんしゃとく) 受けた恩に報いようと感謝の気持ちを持つこと]

19日(水) 午後1時 / 宵宮祭 午後2時 / 流鏝馬神事  
20日(木) 午前10時 / 例祭

- 神賑行事**
- 9月2日[日] ~ 24日[月] テニス大会 / ※寒川ローンテニスクラブ
  - 9月16日[日] 柔道大会 / ※シンコースポーツ寒川アリーナ (寒川総合体育館) 武道場 寒川町柔道協会
  - 9月19日[水] 落語 / 「春風亭柳之助」 ※寒川神社参集殿 寒川神社商工奉賛会 流鏝馬神事 / 大日本弓馬会
  - 9月20日[木] 空手道演武 / 寒川町空手道協会 剣道大会 / 寒川町剣道協会 万灯パレード / 立正佼成会湘南教会 神輿境内巡行 / 宮山神輿愛好会

- 神賑行事**
- 9月19日[水]・20日[木] 両日 献茶 / 裏千家田津原社中 献花 / 千家古流森久保社中 作品展 / 寒川俳壇 作品展 / 寒川神社少年館 盆栽展 / 寒川町盆栽会 祭囃子 / 寒川町祭囃子保存会連合会 水石と美石展 / 湘南石同好会 奉納演芸 / 宮山総代



寒川神社社務所 ☎0467-75-0004  
<http://samukawajinja.jp>

## 天皇陛下御即位三十年記念 東儀秀樹コンサートについて

当神社では、天皇陛下御即位三十年を奉祝し「東儀秀樹コンサート」を開催致します。第一部では、雅楽が伝わる前に存在していた「伎楽」からスタートし「雅楽」「舞楽」へと徐々に時代が進んでいく古典的な内容。第二部では装いも一転し、バンドメンバーとともに、オリジナル曲からポップスまで含んだ「現代音楽」を演奏頂きます。伎楽の時代から千年の刻を超えた「楽」の宴をお楽しみください。

なお、観覧申込みにつきましては、6月15日以降の消印有効にて受付を開始致しましたが、予想を大幅に上回るご応募を頂戴し、即日締切をさせて頂きました。

沢山の皆様誠にありがとうございました。ここに厚く御礼申し上げます。

天皇陛下御即位30年記念  
寒川神社  
http://www.samakawajinja.jp

# 東儀 秀樹

TOGI the LIVE  
CONCERT

## 楽

千年の刻を超えて  
GAKU

東儀 秀樹 (しゅうぎ のりき)  
会楽時代より1300年間雅楽を継承してきた楽家に生まれる。宮内庁式部寮に所属するほか、各地方公演にも参加。2017年、NHK大河ドラマ「徳川家康」の挿し歌も担当。独自の曲の創作にも情熱を傾ける。

平成30年8月14日(火) 場所/寒川神社境内特設能舞台  
開演時間/午後5時30分(予定) 6月15日より往復ハガキにて申込受付開始  
入場無料

## 禰宜就任のご挨拶

大関 光佐雄



この度、図らずも七月一日付をもちまして神社本庁より寒川神社禰宜を拝命致しました。素より浅学非才の身、未熟な私にとりまして寒川神社の禰宜を拝命することは、身に余る光栄でありますと共にその職責の重さを痛感しております。私は昭和五十八年に縁あって寒川神社の出仕を拝命し、早いもので三十六年の歳月が過ぎようとしております。この間、寒川大明神のご加護のもと、大過無くご奉仕出来ましたことは、利根宮司様・多田名誉宮司様を始め先輩諸兄・職員の皆様方、更には神社関係者皆様方のご教導に依るものと深く感謝申し上げます。

中でも、昭和六十年より二十余年、武田流流鏑馬の射手の一人と

して当神社をはじめ明治神宮・三鳴大社等の流鏑馬神事に奉仕させて頂き、その集大成として平成十九年には寒川神社流鏑馬神事に於いて、司家家元に代わって「天長地久の式」を奉仕させて頂きましたことはこの上ない喜びと、今もあの時の高揚した気持ちは忘れ得ません。また、ポーンスカウトのリーダーをはじめ当神社少年館の指導者等青少年活動にも長く関わらせて頂き、神職以外の得難い経験させて頂きましたことは、大変有意義なことと感謝の念に堪えません。

本年は、天皇陛下御即位三十年の佳節を迎え、また明年には「御代替」が行われ一連のご祭儀、様々な奉祝行事が執り行われます。この記念すべき年に甚だ微力ではございますが、宮司様をお助け申し上げますが、禰宜として少しでも貢献できまよう精進してまいりますので、皆様方には変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。挨拶とさせて頂きます。

## 寒川俳壇

糠床の天地返しをして立夏  
棚田みな水明りして夏始  
鎌倉や骨董店の日傘客  
児童館窓のきしみや柿若葉  
柿若葉絵の具溶いてる写生の子  
万緑や胎児の蹴りの確かなる  
腰にあるにぶき痛みや走り梅雨  
母の日や母の温みの下駄はきぬ  
鈴生りの絵馬撫でてゆく青嵐  
蚕豆や莢はカプセル未来の子  
再会を祝う下戸組新茶かな  
硝子窓とほりぬけたる新樹光  
万緑の谿は無音よ流れゆく  
滑らかに巨石が包む滝の皴  
編みかけの糸の足りない暮春かな  
新茶売り茶畑つづく香る園  
看護師の髪は三つ編み桜の実  
羽開き静かに閉じて春の蝶

根岸 君子  
菅沼 保幸  
飛石 槿花  
石原美枝子  
菅沼うめの  
宮人 つる  
竹村真砂美  
倉谷 節子  
松本美智子  
村松 信篤  
猿渡 弥生  
岩田美代子  
露木てる子  
伊藤 公一  
吉田 和美  
原野 楽天  
金子 つち  
四ツ車梢月

## 相模詠草

農の嫁若妻会を立ち上げて半世紀の今我ら老いたる  
紅梅の花びらあまた散りしける花洪水となりしわが庭  
わが人生の余命いくばくわからねど今日の一日を一先ず生きる  
草取りし陰に一株翁草俯き小さく咲くを愛しむ  
西空に夕陽輝き七里ヶ浜の水平線を紅々そめる  
元気いっばい広場に遊ぶ子供らの足もとに咲くタンポポの花  
弥生いまだ気温差大きく定まらず着る服装に頭悩ます  
孫は背に不安も背おうかランドセル重たげなれど今日の一步を  
満開の桜木陰に雀五羽何啄むやチュンチュン：チュン  
風雨一夜荒れ狂いたるその朝西方の空に白き半月  
姫辛夷野良猫遊び土筆んぼ思い思いに春は来りぬ  
寒川の町の夜空を彩りてあがる花火の力強しも  
過ぎゆけば美しなどと言へぬこといくつか吾は八十歳

亀山 文子  
平澤まさえ  
吉田 幸子  
宮治友美枝  
徳江 道子  
土屋トミ子  
稲垣 武子  
山口 幸子  
山根喜美代  
安藤 慧  
渡邊 唯夫  
岡元 芳子  
杉本 照世

## 人事

### ◆退職

寒川神社 禰宜 江沢 恵  
願いに依り本職を免ずる  
平成三十年五月三十一日  
神社本庁

### ◆昇進

寒川神社 禰宜 大関光佐雄  
寒川神社 禰宜に任ずる  
平成三十年七月一日  
神社本庁

### ◆採用

池上 貴広  
参集殿勤務を命ずる  
平成三十年七月一日

### ◆退任

高島 弘  
神奈川県神社庁出向の  
任を解く  
平成三十年六月三十日

### ◆帰任

渡辺 裕子  
介護福祉士  
規則に依り定年退職とする  
平成三十年六月三十日

# 病院だより

## 寒川病院 診療表



		月 火 水 木 金 土						
内科	午前	1診	栗田啓司	板山律子	栗田啓司	相原康之	鳴海裕之	鳴海裕之
		2診	相原康之			岸仲正則		栗田啓司 1,3,5週 相原康之 2,4週
	午後	1診	鳴海裕之	相原康之	◆岸仲正則	岸仲正則	栗田啓司	
		2診		五十塚このみ			小野沢優奈	
神経内科	午後		栗田啓司					
呼吸器内科	午後			高橋史成		竹内友恵		
糖尿病内科	午前	小林貴子	丸山真弓	丸山真弓	金山典子	丸山真弓	小林貴子 1,3,5週	
	午後				金山典子			
循環器内科	午前		千場泰成					
	午後				神田茂孝			
外科	午前	1診	木勢佳史	石過孝文	徳田裕(乳腺)	石過孝文	伊東功	石過孝文 1,3,5週
		2診				石田秀樹	岡村卓穂(乳腺/再診)	木勢佳史 2,4週
	午後	1診	伊東功	鍋島一仁	徳田裕(乳腺)	休診	木勢佳史	伊東功(肛門) 1,3,5週
		2診			休診	岡村卓穂(乳腺)		
脳神経外科	午後					富永二郎		
皮膚科	午後	清水知道		徳山道生	沖津成実			
泌尿科	午前	内田貴人	担当医			小田和也		
整形外科	午前	1診	斎藤裕	菅沼淳	菅沼淳	斎藤裕	石井克志	担当医
		2診			金井研三	小松研郎		
	午後	1診	担当医(予約のみ)	菅沼淳	菅沼淳	斎藤裕	斎藤裕	
		2診	大場敬義			小松研郎		
眼科	午前	木勢由利子	木勢由利子	坂本土郎	保科真理	木勢由利子	嶋村慎太郎 1,3週 木勢由利子 2,4週	
	午後	木勢由利子	宮尾洋輔	中川喜博	坂本土郎	鈴木崇弘	5週休診	
耳鼻咽喉科	午前	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	大上麻由里	小田桐恭子	大上麻由里	
	午後	大上麻由里	金田将治	大上麻由里	大上麻由里	関根基樹		
内視鏡	午前	石過孝文	鳴海裕之	中原史雄		木勢佳史	木勢佳史 3週 石過孝文 4週	
	午後	木勢佳史	伊東功			伊東功		

◆診療開始 14:30~

### 医療講演会のご案内

遺伝子と医学、医療  
～ゲノム医療って何?～

講師/内科 相原康之

日時 7月18日(木)11:00~

場所 寒川神社 参集殿

入場無料・申込不要

8月・9月の予定は  
寒川病院HPでご確認ください

www.samukawabyouin.com

寒川病院

鎮守の杜 **Koyo** レストラン

参拝後のひとときに  
◎夏季限定メニュー

夏の定番、かき氷  
7月中旬開始予定!

苺のかき氷  
抹茶のかき氷

苺のかき氷 700円+税  
抹茶のかき氷 800円+税

◎寒川神社第二駐車場、鎮守の杜Koyoの二階レストラン  
◎お問合せ 0467-72-5877

## 祝七五三



### 貸衣裳展示会

【開催時間】(平日) 10:00~16:00  
(土・日・祝日) 10:00~17:00

【開催日程】7/21(土)~9/30(日)  
※火曜日、また8/10金~8/16木・8/26日は除く

貸衣裳のご予約・展示を随時承っております

ご会食 お父様・お母様の貸衣裳 着付 ヘアセット等  
ご希望がございましたら係までご相談くださいませ

ご予約・お問合せは

## 寒川神社 参集殿

〒253-0106 高座郡寒川町宮山3835-1  
☎0467-75-5555 FAX0467-75-5556

http://www.sansyuden.jp

# 青少年だより



## 祝！ボーイスカウト寒川第2団 発団45周年

ボーイスカウトは、明治40(1907)年にイギリスではじまった青少年育成活動で、現在では169の国と地域で約4000万人が活動し、日本全国には「団」と呼ばれる活動母体が約2000あり、約10万5000人が活動しています(公益財団法人ボーイスカウト日本連盟HPより抜粋)。また、約2000存在する団の中には、神社が育成母体となっているものもあり、日本におけるボーイスカウト活動の特徴の一つといえるでしょう。各団では、小学1年生から25歳までをビーバー・カブ・ボーイ・ベンチャー・ローパーの5つの年代に分けて隊ごとの活動を展開していますが、全ての隊に共通して「そなえよつねに」を合言葉に、主に野外活動を通じて健全な青少年少女の育成を行っています。



寒川神社が育成母体となっているボーイスカウト寒川第2団は、昭和48年6月10日に旗揚げされ、本年めでたく45周年を迎えました。発団当時の日本は、戦後の高度経済成長の晩年あたり、飛躍的に向上した経済力により国際的にも先進国としての仲間入りを果たした時期でもありました。しかしその一方で、青少年を取り巻く環境までも一変し、伝統に裏打ちされた日本人の「精神」が希薄となった時期であったともいわれています。それを危惧した当時の龍宮宮司は、先祖からお預かりしている鎮守の森で、青少年が伸び伸びとその天性を發揮することができる機会を創出するために、寒川第2団を発団しました。

発団45周年を迎え、今まで以上に地域に深く根を張り、ボーイスカウト活動を通じて神社と地域、ひいては個々の家庭とを繋ぐ一翼を担っていると自負し、着実に一歩ずつ前に進んでまいります。今後とも、変わらぬご支援・ご協力をお願い致します。

寒川第2団では随時スカウトを募集しております。「自分のことは自分でする。困難に立ち向かえる。困っている人の助けになる」そんな「一人前の自分」になるために、神社の森で仲間と一緒に楽しく活動しませんか?

### 動 静

- 4月1日 入館奉告祭(少年館)  
入館式(少年館)  
4日 始業式(少年館)
- 5月3日 寒川町剣道大会参加(少年館)  
4日 ボーイスカウトまつり  
(BVS-CS-BS-VS-RS)
- 6月3日 相模川美化キャンペーン参加  
(少年館-BVS-CS-BS)  
5日 発団45周年記念奉告祭  
並びに記念式典(BVS-CS-BS-VS-RS)  
17日 神饌田植(少年館-BVS-CS-BS-VS-RS)  
24日 さむかわまちぐるみ美化運動参加  
(少年館)

### BS寒川第2団スカウト募集中!

小学1年生以上の男女  
問合せ…寒川神社少年館  
☎0467-74-0551

## 少年館 平成30年度入館式

春は「別れ」と「出会い」の季節であるといわれます。3月に22名の卒館生を送り出した寒川神社少年館は、4月1日に新入館生21名(新1年生は19名)を迎え入館式を挙行了しました。この佳日に飛びっきりのお洒落をした新入館生は、笑顔の中にも不安をのぞかせながら、ご父兄に付き添われて、入館奉告祭に参列しました。続いて、少年館に会場を移し、入館式が行なわれ、館長先生や講師の先生から記念品とお祝いの言葉を頂き、在館生からも歓迎の挨拶を受けました。

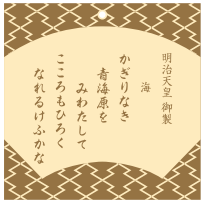
寒川神社少年館では、年間を通して様々な活動を展開していますが、1年生から6年生を混合した「縦割り」の班分けがなされます。そうすることで、自然と上級生が下級生の面倒をみるようになります。

本年度の新入館生も「出会い」と「別れ」を繰り返しながら、少しずつ遅く成長していかれることを期待します。

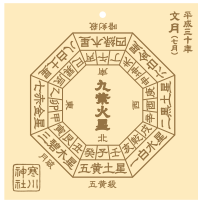




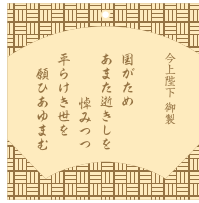
『木札』 月次祭にご参列された方などにお頒けする木札です



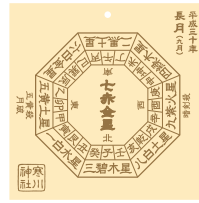
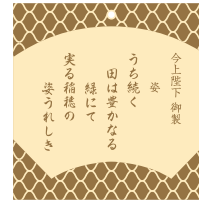
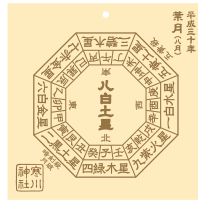
文月「7月」



葉月「8月」



長月「9月」



神社の素朴なぎもん!?



神社についてのなかなか聞けない素朴な疑問に、毎号少しずつお答えしていきます。できるだけ簡単な言葉でお答えしますので、ぜひお子さんと一緒にお読みください。



Q おみくじって何?

神社やお寺で吉凶を占うために引く籤をおみくじといいます。古くは、政治に関する重要な事項や、国の後継者を選定する際に、神様のご意思を占うために、くじ引きが行われており、これがおみくじの起源の1つとされています。(諸説あります)



おみくじが人々に定着し始めたのは平安時代といわれ、鎌倉時代になると現在のようになり個人で吉凶を占うためにおみくじが用いられるようになったようです。さて、質問です。吉と中吉とではどちらの方が運勢が良いと思いますか? 一般的には吉の方が良いといわれています。つまり

大吉・吉・中吉・小吉…凶という順番になります。神社やお寺によっては、順番が違う場合もありますが、寒川神社ではなんと大吉よりもすごいのが、あるとかないとか。皆さんも一度引いてみていいかもしれません。

おみくじを引いて「大吉だからラッキー」「凶だから最悪」という声をよく聞きますが、おみくじはそう単純なものではありません。そこには、運勢以外にも「人生の道しるべ」が書かれています。大吉だったとしても注意すべきことは書いてあります。おみくじは引くことに意味があるのではなく、そこに書かれていることに注意しながら、今後に活かしていくことが大切なのです。

次号『相模514号』は 10月1日(月)に発行します

第513号 平成30年7月1日  
発行所：寒川神社社務所  
〒253-0195 神奈川県高座郡寒川町宮山3916  
電話：0467(75)0004(代)  
編集責任者：小野 俊之  
印刷所：株式会社 さんこうどう  
http://www.samukawajinjya.jp  
JR相模線 宮山駅より徒歩5分。圏央道 寒川北ICより1km。

本誌のバックナンバーは当神社HPよりダウンロードできます。

後編集

編集責任者交代に伴い、一言ご挨拶を申し上げます。本号より「相模」の編集をさせていただくことになりました。昭和44年の発刊より約50年という長い歴史のあるこの社報の編集をさせていただき、身の引き締まる思いであります。創刊号を読み返しますと、当時から広報的な側面と学術的な側面の両面を兼ね備えた「質の高い」社報であることが窺えます。これからも神社を中心として信仰を第一に、氏子の皆様方はもとより、多くのご崇敬の皆様方に神社の情報を分かりやすく発信して参りますので、何卒宜しくお願ひ申し上げます。(俊)